

令和3年度台東区介護サービス事業者研修 「専門力向上研修」のご案内 主催：台東区介護保険課

第4回 研修内容のご案内(2月開催)

研修 テーマ

連携構築のために必要なコミュニケーションとメンタルとは
メンタルの強化と関係機関との連携構築の重要性
「伝える」と「伝わる」の違い

講師



株式会社One to One福祉教育学院 代表取締役
埼玉医科大学 客員教授

根津 良幸 氏

研修内容

介護現場や関係機関との連携構築において最も重要な事はコミュニケーションです。
しかし「伝える」と「伝わる」を意識していないと連携が崩れてしまいます。

特別養護老人ホーム統括施設長、デイサービスセンター長、
グループホーム統括施設長を経験して得た介護現場における
連携の落とし穴や「伝える」と「伝わる」の違いなど現在
埼玉医科大学においてドクターズカリキュラムとして採用
されている内容を公開し、本当の円滑なコミュニケーション
による連携構築とは何かを学びます



【日 程】令和4年2月4日(金)

【時 間】18:30 ~ 20:30

【場 所】台東区役所 10F 1001会議室

【対 象】台東区内介護サービス事業所 職員

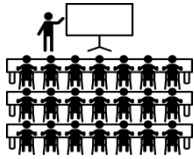
【定 員】50名

【形 式】オンライン

【参加費】無 料

※裏面 [講師紹介]





講師紹介

株式会社One to One福祉教育学院 代表取締役
埼玉医科大学 客員教授

根津 良幸 氏

1996年に社会福祉法人を設立。特別養護老人ホーム統括施設長、デイサービスセンター長、グループホーム統括施設長に就任する。また、介護認定審査会委員、老人福祉施設連絡協議会会長、高齢者虐待防止委員会委員を歴任。現在、株式会社 One to One 福祉教育学院 代表取締役として活動しながら埼玉医科大学の客員教授として講義・指導を行う。

考案した本コミュニケーションカリキュラムは10年以上前から厚生労働省、東京都、東京都各区市で取り入れられ、実際の介護現場でコミュニケーションの手法として実践で使われている。

また埼玉医科大学において1・2年生の必修科目として「【地域・介護医療】地域医療と介護の連携」、「【ラポール形成】患者・家族・医師との信頼関係」や3年生の必須科目「行動科学と医療倫理」の講義や埼玉医科大学国際医療センターにて新任ドクターに対してコミュニケーションの講義・指導を行っている。

本件に関するお問合せ先
台東区 福祉部 介護保険課 事業者担当

☎ 03-5246-1243

担当：関根・塚越